

2026 年 7 月 16 日実施

令和8年度県立高校等チャレンジプロジェクト

英語学習講座(2の1特進)

実施目的

英語の言語体系の一部を知ることにより、実践的な英語の運用力と、基礎的な教養の向上の一助とし、進路実現に役立てるための資質を高めることを目指す。

講師紹介

茨城キリスト教大学文学部現代英語学科 三輪健太 准教授 英語学(統語論)
日本語と英語の比較言語学の研究 人間の頭の中の言語操作を科学的に分析

講義風景



生徒感想

＊英語の語の成り立ちには一定の法則があり、現代ではそれを人工智能に頼って知り得ることも可能だが、「自分で論理的に考えて学びの道を開く」ことに意義があるという三輪先生の言葉が、印象に残った。

＊キャリアカーとカーキャリア、どちらが適切な英語表現であるかの命題を解き明かす話がとても興味深く、説明できる言語の規則の存在に驚いた。

＊キャリアカーかカーキャリアかの問題には、他の多くの英語の複合語サンプルの考察から共通項を導くことにより、動詞と目的語の関係に着目するとルールが見えて来ることに気付かされて、その考え方が分かりやすいと感じた。

＊今回の講義を聴いて、英語の複合語が右側主要部のルールで形成されていることを、初めて学術的な観点から知り、知的な高揚感を得られて、とても嬉しく楽しかった。

＊英語の複合語は、右側つまり後の単語の方に主な強い意味があること、動詞に er の形態素が付くと「～をする人」の意味になること、そうした規則を意識しない和製英語が作られること、このような思考法を今後の学習に活用したい。

＊英語の複合語は右に意味の中心があるという「右側主要部の法則」には、実は例外もあるので、確かに英語として正しいのはカーキャリアだが、和製英語のキャリアカーでもいいのではないかと考えてしまう。本来の英語と和製英語は別に考えなくてはならない場合がある。

＊右側主要部の法則により「car carrier(カーキャリア)OV←名詞化した動詞」が正しいとされたが、「scarecrow(案山子)VO」などは、右側主要部の法則から外れている。言語には例外と曖昧の側面が大にしてあるので複雑だ。

＊派生語の概念を確認した。英単語の構造を考えてみる機会となった。スポーツカーやパトカーと同じ原理なら、キャリアカーが正しいと思ったが、動詞の前に目的語を置いて複合語を形成するルールを理解すれば、英語としてはカーキャリアが正しいのだと飲み込めた。疑問を持ち自力で解明する意識の大切さも学んだ。

＊講義の後の個人的な質問の回答で、脳の違いというのは、言語よりも個人差によるものであると知った。自分は、すべての言語にはある共通点があると考えていて、言語の起源に何か関係があるように思う。派生言語や派生語などに特に関心がある。